

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
仙台都心地区

令和7年10月

宮城県仙台市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	仙台市	地区名	仙台都心地区			面積		429.2 ha				
交付期間	令和3年度～令和7年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	2,669.6 百万円	国費率	0.5							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(榴岡公園、肴町公園、仙台駅東1号・2号公園)、滞在環境整備(定禅寺通、青葉通、宮城野通、肴町公園、榴岡公園)											
		提案事業	なし											
		事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(肴町公園)	災害時の地域利用の観点から、別事業(防交安)として実施することとしたため、令和6年度に削除			肴町公園の数値目標を下方修正							
		基幹事業	滞在環境整備(宮城野通)	エリア価値向上整備に移行したため、令和5年度に削除			宮城野通の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く							
		基幹事業	滞在環境整備(肴町公園)※直接	令和3年度に発足したまちづくり協議会を事業主体として実施することとしたため、令和4年度に削除			肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く							
		提案事業	なし	—			—							
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(定禅寺通)	再整備方針に基づく道路空間再構成を進めるため、令和4年度に追加			「定禅寺通」における指標を追加							
		基幹事業	エリア価値向上整備(肴町公園)	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)			肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く							
		基幹事業	エリア価値向上整備(青葉通(一番町))	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)			なし							
		基幹事業	エリア価値向上整備(宮城野通)	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)			宮城野通の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く							
		基幹事業	滞在環境整備(市役所本庁舎建替)	市役所本庁舎建替に伴う低層部社会実験実施のため、令和4年度に追加			なし							
		基幹事業	滞在環境整備(青葉通(一番町))	一番町周辺での社会実験実施のため、令和4年度に追加			なし							
		基幹事業	滞在環境整備(肴町公園)※間接	令和3年度に発足したまちづくり協議会を事業主体として実施することとしたため、令和3年度に追加			肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く							
		提案事業	事業活用調査(都心部滞在状況調査)	賑わい創出の効果を客観的に評価するため、令和5年度に追加			なし							
		提案事業	まちづくり活動推進事業(協議会設立に向けた研修講師派遣(市役所本庁舎建替))	市役所本庁舎建替後の低層部の一体的利活用にあたってのエリアプラットフォーム構築のため、令和3年度に追加			なし							
	交付期間の変更	当初	—		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	—								
		変更	—											
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の		効果発現要因
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		(総合所見)	予定時期	
指標1		まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(宮城野通)	ポイント	48	R2	52	R7	54	56	○	あり	—	仙台駅東1号・2号公園の整備完了、榴岡公園や宮城野通における社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、ほこみちの指定等により、通りの魅力向上につながったと思われる	—
											なし	—		
指標2		まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(肴町公園)	ポイント	28	R2	32	R7	45	51	○	あり	—	肴町公園での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、周辺エリアの飲食店の増加などにより、公園周辺の魅力向上につながったと思われる	—
											なし	—		
指標3		まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(定禅寺通(歩道))	ポイント	49	R6	50	R7	—	60	○	あり	—	工事期間中ではあるものの、定禅寺通周辺での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組みにより、高質で居心地の良い緑空間への機運醸成につながったと思われる	R8.5 (工事完了後)
											なし	—		
指標4		まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(定禅寺通(緑地))	ポイント	51	R6	53	R7	—	57	○	あり	—	工事期間中ではあるものの、定禅寺通周辺での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組みにより、高質で居心地の良い緑空間への機運醸成につながったと思われる	R8.5 (工事完了後)
											なし	—		

	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
					基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	エリア内活動量 (定禅寺通、青葉通、宮 城野通(滞在者数×滞 在時間))	人・時	23.4	R5			22.1	16.8			エリアの一部が工事中等の理由により 従前値より低い評価となったが、再整 備や賑わい創出の取り組みを進めるこ とで、滞在者数等の向上につながって いくと思われる	-
	その他の 数値指標2	公園内のイベント開催 回数(仙台駅東1号・2号 公園)	回	0	R2			1	1			仙台駅東1号・2号公園の整備完了によ り、都心のみどりの拠点・多様な人々が 集う交流拠点が形成され、居心地がよ く巡り歩きたくなるまちなかの空間づく りに寄与している	-
	その他の 数値指標3	公園愛護協力会による 活動回数(仙台駅東1 号・2号公園)	回	0	R2			6	12			仙台駅東1号・2号公園の整備完了によ り、都心のみどりの拠点・多様な人々が 集う交流拠点が形成され、居心地がよ く巡り歩きたくなるまちなかの空間づく りに寄与している	-
	その他の 数値指標4	仙台市市民意識調査 (居心地がよく、巡り歩き たくなるまちなかの空間 づくり)	点	2.96	R4			2.96	2.96			都心部の通り・公園などにおいて、官民 連携での賑わい創出の取り組みを継続 していること、また、人中心の空間形成 のハード整備に取り組んでいること等 が評価につながったと思われる	-
4) 定性的な効果 発現状況	各エリアで社会実験やハード整備が行われることにより、まちづくりの機運が高まり、都心全体の回遊性向上につながっている。												
5) 実施過程の評価		実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	・「まちなかの居心地の良さを測る指標(案)」を毎年度測定				都市再生整備計画に記載し、実施できた				○	次期計画に向けては、近年のAIやビックデータなどを活用した測定 方法についても検討する。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による 取組	・定禅寺通空間再構成に係る社会実験及びシンポジウム ・青葉通駅前エリアのあり方検討(未来ビジョン検討策定、 社会実験、市民参画イベント) ・青葉通(一番町)周辺の公共空間活用社会実験 ・宮城野通社会実験及び沿道地権者等への意見聴取 ・榴岡公園利活用社会実験 ・肴町公園拠点整備社会実験及びワークショップ ・市役所本庁舎建て替えに伴う社会実験				都市再生整備計画に記載し、実施できた				○	社会実験やイベント等の成果を活かしつつ、賑わい創出の取り組 みを継続し、エリア特性を活かしたまちづくりを推進することで、都 心部全体の回遊性向上を目指す。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり 体制の構築	・市役所本庁舎再整備後の低層部の一体的利活用に あたってのエリアプラットフォーム構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた				○	令和10年度の新本庁舎低層部等一体的利活用の開始に向けて、 引き続き有識者や地域関係者等を交えた検討を進める。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

仙台都心地区（宮城県仙台市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
		まちなかの居心地の良さを測る指標（ストリート）の総合スコア（宮城野通）	単位：ポイント	48	R2	52	R7	56	R7
		まちなかの居心地の良さを測る指標（広場・公園）の総合スコア（肴町公園）	単位：ポイント	28	R2	32	R7	51	R7
		まちなかの居心地の良さを測る指標（ストリート）の総合スコア（定禅寺通（歩道））	単位：ポイント	49	R6	50	R7	60	R7
		まちなかの居心地の良さを測る指標（広場・公園）の総合スコア（定禅寺通（緑地））	単位：ポイント	51	R6	53	R7	57	R7
大目標：東北の中核都市として、国際競争力を有し、賑わいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける躍動する都心の実現 目標１：エリア特性を活かした回遊性が高く巡り歩きとなる街路空間の創出 目標２：杜の都にふさわしい高質で居心地の良い緑空間の創出 目標３：公民連携による多様な人々の出会いや交流が生まれる滞留空間や交流拠点の創出									

The map illustrates various urban regeneration zones and projects in the Sendai city center. Key features include:

- Regeneration Areas:** Delineated by red outlines.
- High-Speed/High-Quality Potential Zones:** Indicated by green outlines (e.g., Maehata Waka-able Area).
- Urban Functionality Enhancement Zones:** Shaded yellow.
- Habitat Improvement Zones:** Outlined in blue.
- National Routes:** Solid blue lines.
- Railways/Subways:** Black dashed lines.

Legend (凡例):

- Red outline: Urban Regeneration Plan Area
- Green outline: High-speed/high-quality potential area (Maehata Waka-able)
- Yellow shading: Urban functionality enhancement zone (R4 plan)
- Blue outline: Habitat improvement zone (R4 plan)
- Solid blue line: National route
- Black dashed line: Railway (Subway)

Project Legend (プロジェクト凡例):

- Yellow box: Core project (基幹事業)
- Light blue box: Proposal project (提案事業)
- Dashed black line: Connection project (関連事業)

Scale bar: 0 to 500 meters.

まちの課題の変化	・定禅寺通、青葉通、宮城野通などのまちづくり協議会や市民団体等と連携し、エリアの特徴を生かした様々な社会実験やイベントを実施したことにより、エリア内の賑わいと魅力が高まり、都心部の回遊性向上に繋がっている。 ・仙台駅東1号・2号公園の整備が完了することで、公園内で地域住民を中心とした様々なイベントや活動が行われるようになり、地域の交流の場となっている。また、榴岡公園や定禅寺通などの再整備に着手したことで、居心地の良い空間形成への期待が高まり、エリアの魅力向上に繋がっている。 ・地域と連携しながら社会実験を繰り返し行い、R4年度に定禅寺通・稲荷小路、R5年度に宮城野通・虎屋横丁をほこみち指定し、地域が活用しやすい道路空間を形成した。また、R6年度には、定禅寺通周辺のエリアマネジメントに取り組む一般社団法人定禅寺通エリアマネジメントを都市再生推進法人に指定し、民間活力を生かしたまちづくりを推進している。 ・再整備完了後を見据え、都市再生推進法人による中間支援などの仕組みづくりによる持続的な官民連携のまちづくりに関して検討が必要。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・引き続き各エリアのまちづくり団体への伴走支援を行い、エリアの特徴を生かした賑わいの創出に官民連携で取り組む。 ・榴岡公園や定禅寺通などの再整備が円滑に進むよう地域や管理者等との協議・調整を丁寧に進める。 ・ほこみち区域の利活用団体や都市再生推進法人等の民間活力を生かし、地域のニーズに即した新たなまちづくりに取り組む。 ・都市再生推進法人等と連携し、イベント主体が活用しやすい仕組みづくりや持続的なエリアマネジメントに向けた検討を進める。